

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 キックオフシンポジウム

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学
～持続可能な社会を実現させる10年構想～

～社会変革を担う研究大学へ～



岡山大学

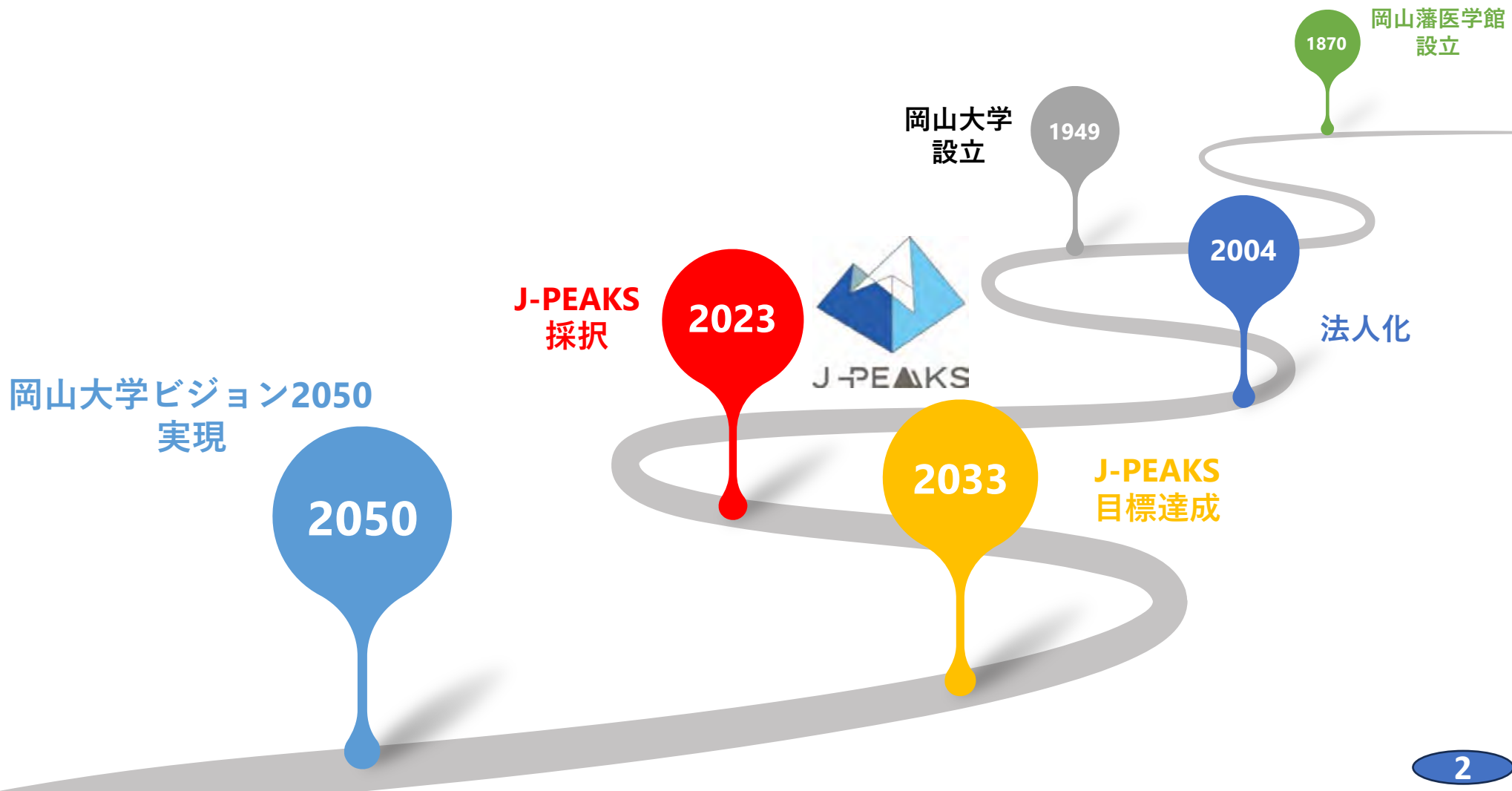
OKAYAMA UNIVERSITY



J-PEAKS

岡山大学のビジョン・戦略・実施体制

岡山大学のビジョン達成に向けた 大きな一歩であるJ-PEAKS



岡山大学のビジョンと戦略

■ 人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築のもと「知のグローバルゲートウェイ」として
地域と世界をつなぎ、「地球と生態系の健康 (Planetary Health)の実現に向かって地域と地球の
「**ありたい未来の共創**」に貢献する

2019～2021

岡山大学ビジョン2.0
岡山から世界に、新たな価値を
創造し続ける
SDGs推進研究大学

2022～2027

岡山大学ビジョン3.0
ありたい未来を共に育み共に創る研究大学

長期ビジョン2050

**地域と地球の未来を共創し、
世界の革新に寄与する
研究大学**

■ SDGs大学経営

SDGsへの貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・産学共創を一体的に改革して
新たな事業モデルを展開

グローバル・エンゲージメント戦略

岡山大学DX推進プラン

教 育

「主体的に変容し続ける先駆者」の育成

- ・ 大学院教育改革
- ・ 学士課程と高大接続の一体改革
- ・ リカレント教育の充実

研究・産学共創

研究成果の社会実装を促進し社会課題解決

- ・ 若手研究者が自由な発想で挑戦的研究に取り組める環境の整備
- ・ 学内におけるイノベーション創出機能の集約化と強化

大学経営

変化に強い強靱な組織へ

- ・ ERMによるガバナンス体制の強化
- ・ ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・ インナーブランディングの強化
- ・ 大学病院経営の健全化、財源の多様化
自律的な法人経営

不易

流行

不易

岡山大学に関わる

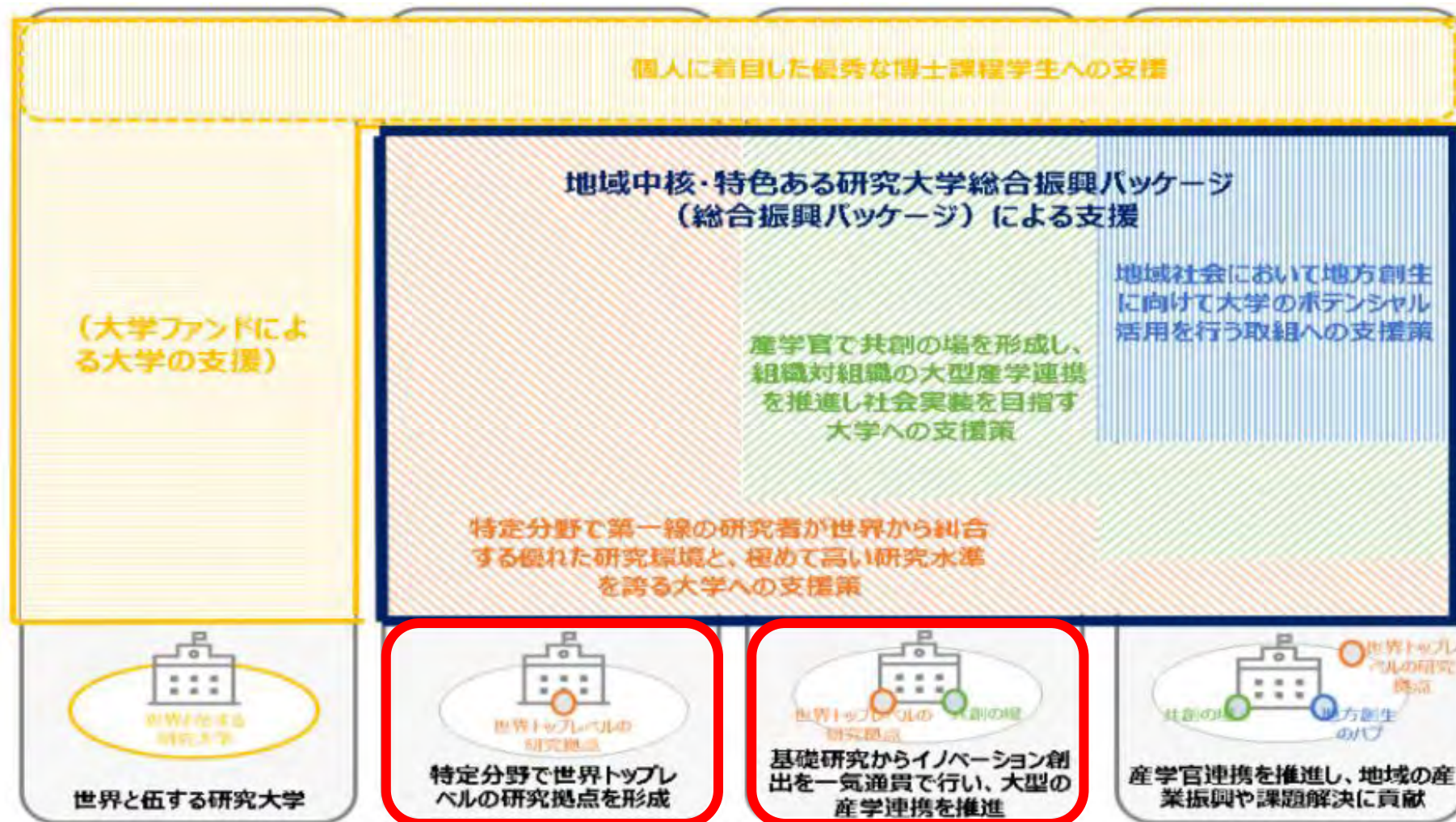
過去・現在・未来の人々（マルチステークホルダー）の持続的で多様な幸せ（well-being）の実現を追求

流行

社会情勢を見極め、国立大学法人として、政策や地域の思いを先取りし先導する改革・人材育成・教育研究

総合振興パッケージで目指す大学像 (R5/2/8改訂版より)

- 研究活動を核とした大学に求められる機能について、自らのミッションや特色に応じたポートフォリオを描きつつ戦略的に強化し、大学の力を向上させることで、新たな価値創造の源泉となる「知」と「人材」を創出、輩出し続ける大学



岡山大学は赤枠部分に申請

研究IR（エビデンス）
に基づく拠点形成



強み分野と次世代にリソースを投資し、研究界の国際サークルと勝負できる強みをさらに強く、尖らせる。岡山大学独自のアプローチで新しい科学（Science）を創る

国家戦略や地域の思いを
先取り・先導



岡山大学でしか成し得ない研究を展開し、社会変革を起こす

総合知の活用



地域・研究機関・産業界・自治体等を巻き込み、新たに「**外なる場（学外）**」を舞台に**コミュニティを形成**

若手/中堅/シニア研究者
そして大学職員



やりがい、感動、高揚感を感じ、**誇りと希望を持ち、研究・業務に打ち込める場を形成**

確実な実行力：研究力・イノベーション創出強化本部の設置

長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現のため、全学協働体制を整備し、諸施策を強力に推進する体制を構築。**部門の垣根を越え、多種多様な知を生かす**
「アジャイル型手法」を用いた、岡山大学研究力・イノベーション創出強化本部を設置（司令塔一本化）

学内体制の場

全体統括
学長（法人の長）

研究力・イノベーション創出強化実現会議

※学長、理事、プロジェクト責任者等が参加する意思決定の場（月1回）

【組織風土改革】

- ✓ “大学を変える” スピーディーな意思決定
- ✓ 強固な教職協働体制
- ✓ アジャイル体制とプロジェクトマネジメント手法による確実な実行力

卓越研究部会 （取組1）

〔取組推進責任者〕
佐藤法仁
副理事・URA

イノベーション・社会課題解決部会 （取組2）

〔取組推進責任者〕
前田嘉信理事・病院長
阿部匡伸理事・上席副学長
三村聡副理事

研究環境部会 （取組3）

〔取組推進責任者〕
菅誠治理事・上席副学長
佐藤法仁副理事・URA
窪木拓男副理事

人事戦略部会 （取組4）

〔取組推進責任者〕
三村由香里理事
佐藤法仁副学長・URA

財務戦略部会 （取組5）

〔取組推進責任者〕
袖山禎之
理事・事務局長

PT

PT

PT

PT

PT

PT

PT

PT

PT

PT

PT:プロジェクトチーム員

取組推進副責任者・事務責任者を配置。総務、教育、研究、国際、財務、施設、広報、病院などの、**従来の縦割りの組織を「超えて」、**法人一体として、プロジェクトベースで、スピード感を持ち、集中的にマネジメントすることで、社会変革の実現を着実にかつ、確実に実行。
URAの「**研究部門を越えた**」全学マネジメントを実施。

研究力で社会を変革する！

岡山大学 4 つの挑戦

強みを徹底的に尖らせ
新技術を生み出す

研究基盤（設備と人）でイノベー
ション創出の「知と技のメッカへ」

大学の内から外なる場へ
Well-being社会を実現する

知識により社会変革を
起こす「ナレッジワー
カー」を育成

研究プロジェクトではなく、いかに、研究力から、社会変革を戦略的に展開していくのか



特定分野で世界トップレベルの 研究拠点を形成

研究の卓越性の飛躍から新技術創出

エビデンス（研究IR） 強みをさらに強く・尖らせる

岡山大学高等先鋭研究院システム シナジー効果・流動

世界と伍する研究拠点形成、革新的技術開発

1 強みの研究群を育成する仕組み

研究の強みを厚くする
仕組みの構築

■ **全学リソースを研究特区に傾注**し強みを育成。横連携により研究の厚みを生む

■ **研究IRによる入替制**で、既存の強みとの連携・協働や新たな研究群を育成

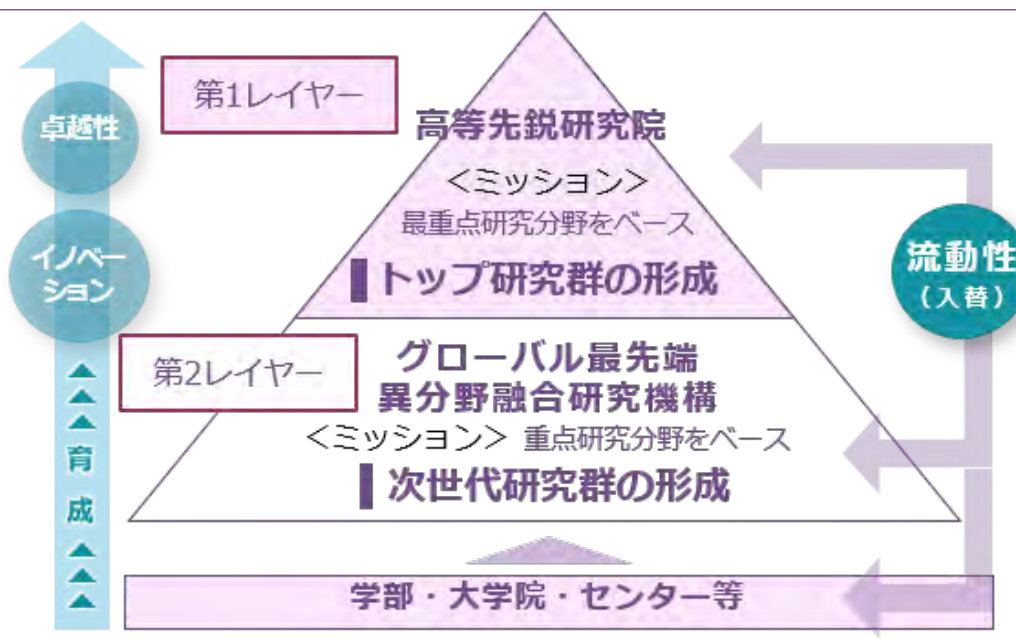
(高等先鋭研究院・最重点研究分野を中心とした異分野融合を推進し、全体の引き上げと新たな強みを創出する)

<最重点研究分野>

7領域

- ①農作物・植物科学 ②ヘルスケア ③IT・エレクトロニクス
④惑星科学・宇宙物理 ⑤革新材料 ⑥考古学
⑦①～⑥に関する融合研究、サービス・社会制度設計

強みを集めた組織としての「箱」
ではなく、研究の卓越・厚み・育
成・流動等を「システム」として
機能させる **わが国初の試み**



既存の研究と地域共創の部門を統合し「研究・イノベーション共創機構」を設置 **総司令塔機能を強化**

■ 強く有り続ける先鋭拠点であるため、**トップ研究者の育成をシステム化** (博士強化)

1 研究の卓越性の飛躍から新技術創出

研究の卓越性から
イノベーション創出

50年後、100年後のありたい未来：地球と生態系の健康（*Planetary Health*）の実現
に向け、地球外活動も視野にいた、新たな知見と新技術開発を推進

高等先鋭研究院 先鋭研究群（研究特区）を選定：（第1弾）

植物・光エネルギー開発拠点

※第1弾のグッドプラクティスから
第2・第3弾へ展開

【10年後】

「光合成の根幹をなすタンパク質の機構等」「植物の機構・構造・ゲノム情報」
解明により、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや
極限環境下でも安定・高強度を保つ**「新素材開発を加速化」**

世界トップの研究者群（知の集積）とリソースの傾注により、
研究界のトップサークルを先導し、地球規模の課題解決を図り、国際研究イニシアチブを獲得

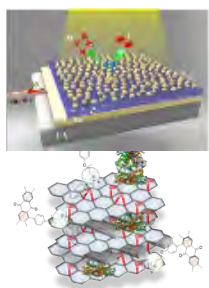
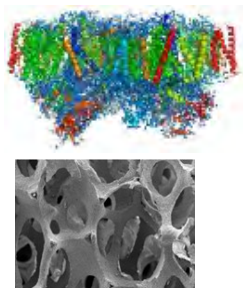
自然災害

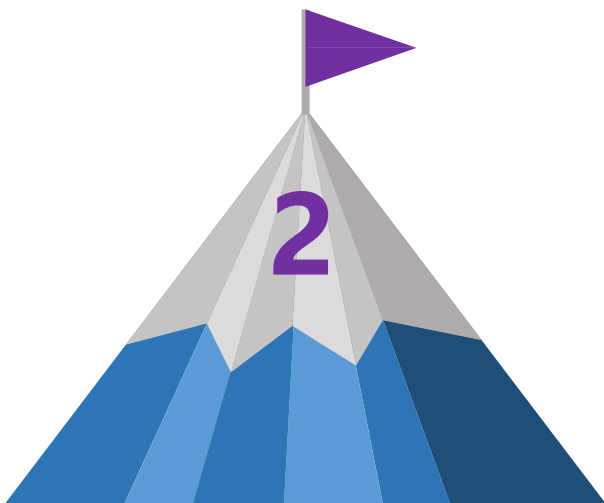
地球環境激変

気候変動

エネルギー不足

解決





○基礎研究からイノベーション創出を一気通貫で行い、大型の産学連携を推進

○産学官で共創の場を形成し、社会実装を目指す

イノベーション創出による Well-being社会の実現

内なる場（大学内）から、**外なる場（地域・社会）**への拠点形成

規制緩和、革新医療技術、くらし変革 → 社会変革

共生型連合体、デジタル田園健康特区、国家戦略特区連合

おかやまDXコア、Well-being、シンクタンク

社会課題解決から イノベーション創出

デジタルの力で人の持つ力を最大限活用し、医療制度と生活様式の変革を導く拠点

DXを軸に産学官連携により誰一人取り残されないコミュニティを創生
（国家戦略特区：デジタル田園健康特区を活用し、中山間地域の課題解決の全国展開）

新価値・新産業創出 スタートアップの舞台

※筑波大学・山梨大学・大阪大学・岡山大学の連携で事業を加速



研究力による社会変革を先導
地域のシンクタンクとなり
政策ブレインの役割をなす

DXエコシステム

「おかやまDXコア」が熱い!



おかやまDXコア

DXをキーワードに学内外の多様な 人材が融合
する場・仕組み（異分野・異社会・異世代融合が
加速し、デジタル・シンクタンク化が進展）

2 イノベーション創出によるWell-being社会の実現

共生型連合体設置

大阪大学、筑波大学、山梨大学、岡山大学

(スーパーシティ・デジタル田園健康特区関連大学の連合体)

- ① **規制緩和**による社会課題解決（社会変革）を加速
- ② 強み特色のある大学間の連携による**革新的新医療技術開発**
- ③ **まち・仕事・産業変革**によりイノベーション創出

各特区における事業を相互連携（範囲拡大）

多様な人材の融合により、
地域課題解決と
革新的イノベーションを起こし
Well-being社会を実現

※おかやまDXコアのシステムを活用
※津山工業高等専門学校など県内教育機関とも連携





研究環境整備 イノベーション創出 「知」と「技」のメッカへ

研究基盤（設備とヒト）・研究に打ち込める場の構築

クライオ電顕・最先端分析装置等による中四国における機器共用ネットワークの構築

東京大学の知と技の伝承と中四国地域への拡充

SPring-8の大型実験の事前分析拠点、リモート機能

技術人材の高度化、TCカレッジ、産業界との連携、技術PM人材

3 イノベーション創出の知と技のメッカとなる 研究基盤整備（研究力強化・産業振興拠点）

研究力と社会変革を
支える基盤整備



クライオ電顕（独自財源）
異分野基礎研究所に設置

共用が目的ではなく、
共用によりいかに研究力
を高め、社会を変えるか

1. 先端分析計測設備・基盤設備の充実及び共用化の推進 研究トレンドを「捉える」・「作る」・「支える」

- ・ クライオ電子顕微鏡連携中四国NWを構築
- ・ 理研SPring-8のリモートアクセスステーション設置
- ・ 最先端設備の整備により最先端研究の推進・技術革新
- ・ 基盤設備の共用化促進（産業界の利用も促進）
- ・ コアファシリティポータルによる研究設備のワンストップ利用、
IRによる投資計画、事務処理DX化による業務削減

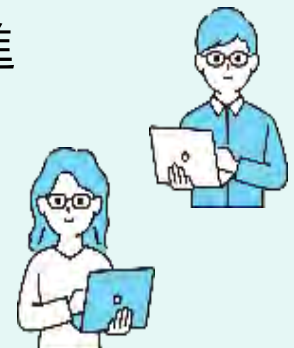


先端設備の充実と
技術人材の高度化による
シナジー効果



2. 総合技術部・技術職員の高度化

- ・ TCカレッジの受講によるテクニカルコンダクター(TC)認定者輩出促進
(ALL-JAPANで技術人材の高度化・関係機関、企業等との頭脳循環)
- ・ 博士人材の積極登用・大学院修学支援制度による博士号取得促進
キャリアパス・給与システムの構築
- ・ プロジェクトマネジメント国際資格（PMP）取得促進



3 イノベーション創出の知と技のメッカとなる 研究基盤整備（研究力強化・産業振興拠点）

他機関との
協働体制

✓ 研究基盤整備の要となる組織を設置

- ・ 岡山大学研究推進機構に機器共用推進本部を設置
- ・ 技術職員を集約した「総合技術部」発足

✓ 先進取組機関との連携強化

- ・ 東京大学（クライオ電顕）
- ・ 理研（SPRING-8）



岡山大学

クライオ電子顕微鏡
(R5大学独自財源で整備)

**TCカレッジを軸に
技術職員の高度化・
次世代育成を推進**

 **東京工業大学**
Tokyo Institute of Technology

 **YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学**

 独立行政法人国立高等専門学校機構
津山工業高等専門学校
NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, TSUYAMA COLLEGE

 **NINS** 自然科学研究機構
National Institutes of Natural Sciences



※地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業（10億）を活用して整備

【概要】

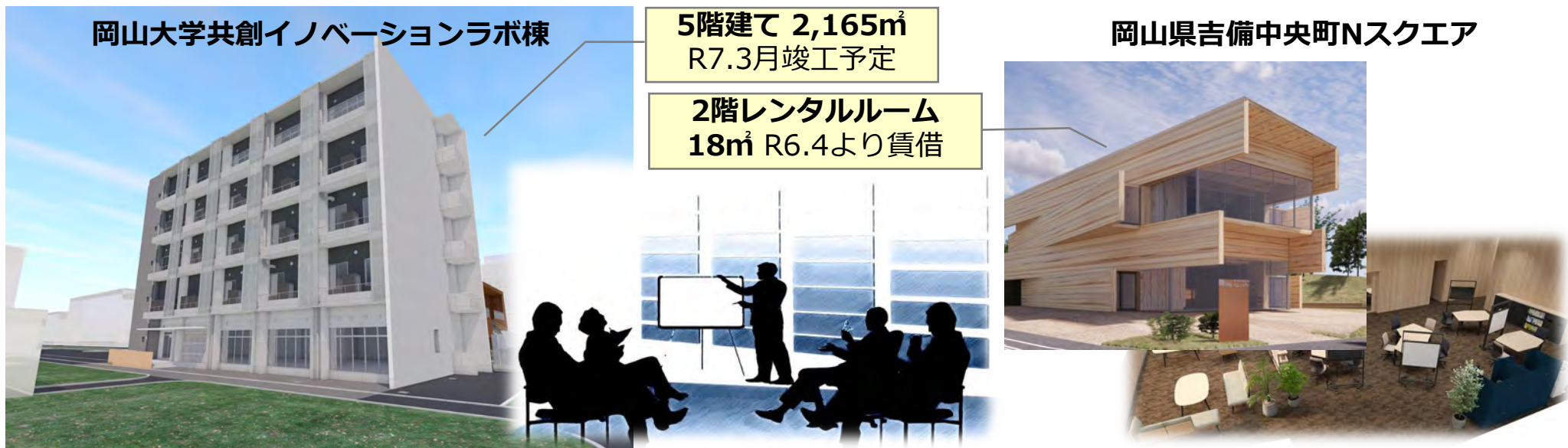
- ・卓越研究と社会課題解決から産業界やスタートアップと共に新産業を創出。
- ・デジタル田園健康特区を核に社会課題解決を加速するmedtech&dx系ラボ。
- ・光合成構造解析からクリーンエネルギー材料開発を目指す産学パイロットプラント。
- ・多様な人材が集いイノベーションを演出するコネクトスタジオ。

岡山大学共創イノベーションラボ棟

5階建て 2,165^m
R7.3月竣工予定

2階レンタルルーム
18^m R6.4より賃借

岡山県吉備中央町Nスクエア



- ▶叡智が集う学部・研究所、分析や解析などが集うテクノロジー施設、そして次世代を担う人材（学生ら）が集積した地点を「岡山大学イノベーション・コモンズ(共創拠点)」として整備。
- ▶デジ田特区（吉備中央町）Nスクエアとともに、**知の実装と社会との共創機能**を担う。



研究力強化とイノベーション創出に 向けた人事戦略と財務戦略

知識により社会変革を起こす
ナレッジワーカーを育成

■ 事務職員・技術職員の高度化

- ・ 複線型人事、機能分化、博士人材登用、大学院修学支援制度

■ 組織改革

- ・ 総合技術部（組織化、技術の見える化、テクニカルコンダクターへ）
- ・ 技術統括管理本部（教育研究＋施設管理＋医療技術）
- ・ 研究・イノベーション共創機構創設（研究＋地域貢献＋教職協働）

■ 意識改革（研究専念と高度マネジメント人材）

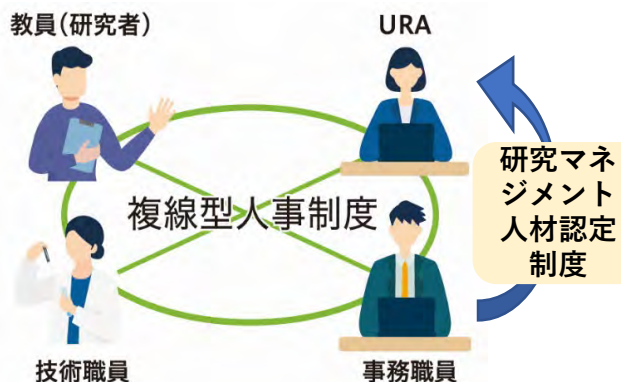
- ・ なんでも教員 → 事務職員・技術職員を登用、先導

4 研究力強化とイノベーション創出に向けた人事戦略と財務戦略

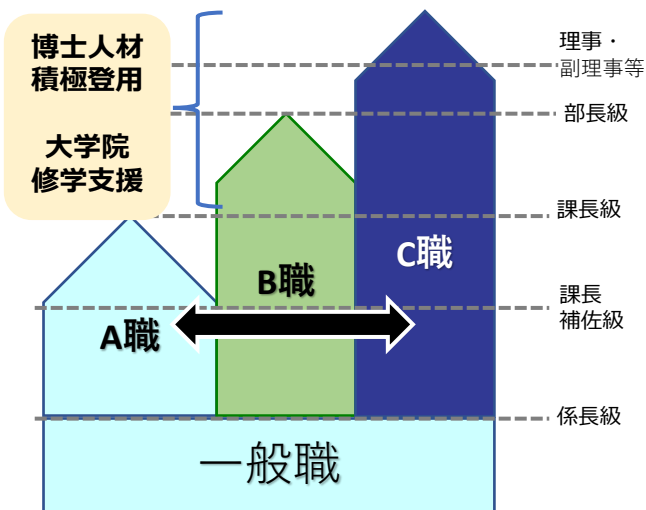
研究界の国際トップサークル先導者と、知識によって社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出

■ 1. 複線型人事制度

■ 2. 研究マネジメント人材認定制度



■ 3. 事務職員の機能分化と高度化



■ 4. 教員の機能分化による研究活動最適化



■ 5. URA機能強化と適正評価



人的リソース最適化による
組織風土改革

博士人材の活躍促進
職員の高度化

■ 6. スーパーPI制度

厳格な評価により、
優秀な研究者を早期に教授に昇任

■ 7. 特区卓越研究者制度

厳格な業績評価に基づく
高い処遇と研究専念環境を保証

■ 8. シニア・ミドルトップ 研究者制度

評価をもとに、承継ポストの概念
を廃し、優秀なシニア・ミドルの
雇用を継続

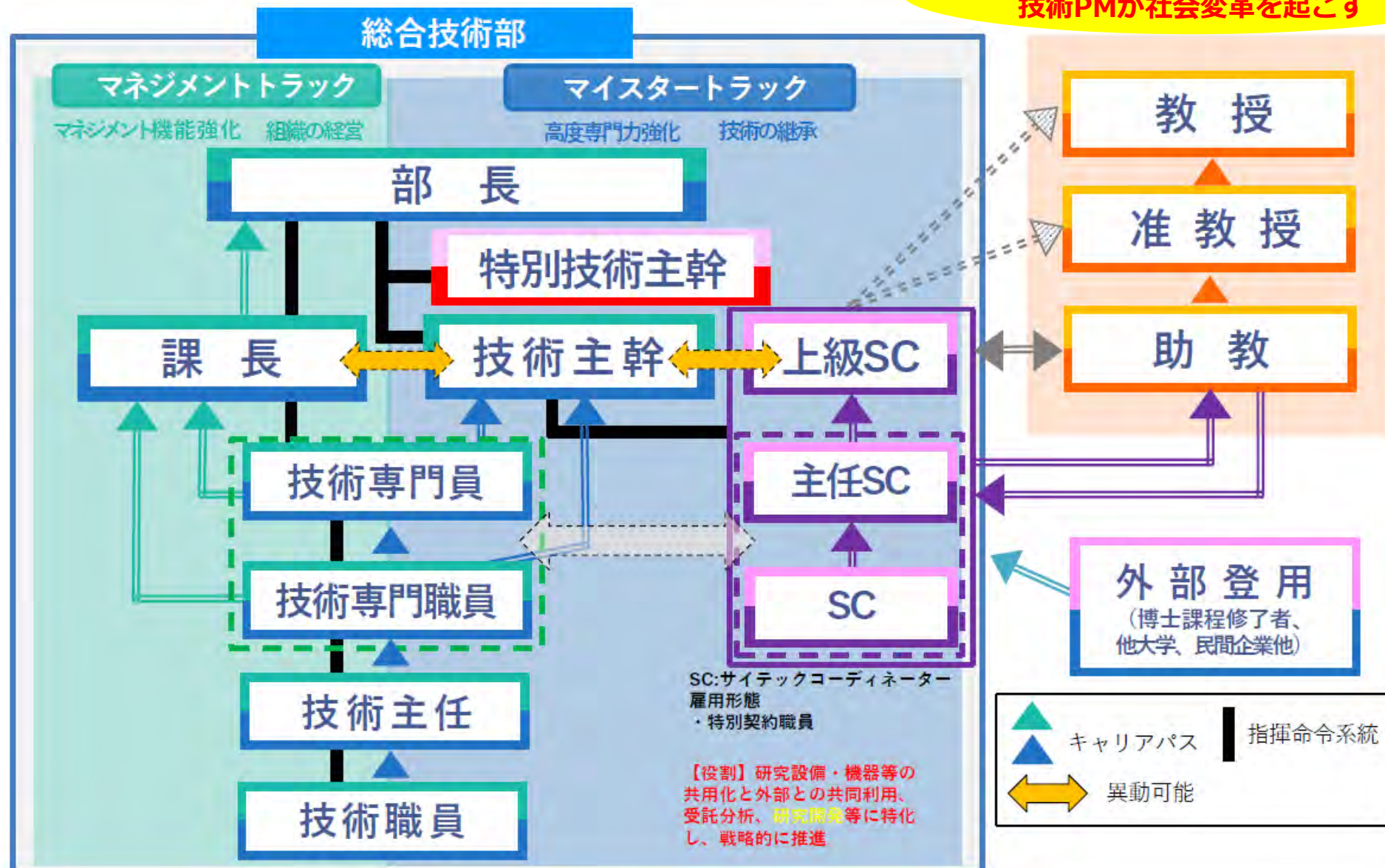
■ 9. 研究特区等へリソース傾注

学長のリーダーシップのもと、
人と予算を特区に傾注

教育研究系技術職員の組織化「総合技術部」

改善の域
2023年始動

博士人材の活躍促進・高度化
技術PMが社会変革を起こす



全系統技術職員の高度化「技術統括監理本部」

改善から
さらにその先へ

教育研究系技術職員（総合技術部）
施設系技術職員（施設企画部、病院病院施設管理課）
医療系技術職員（岡山大学病院医療技術部）

岡山大学
技術統括監理本部
(2024年4月始動)

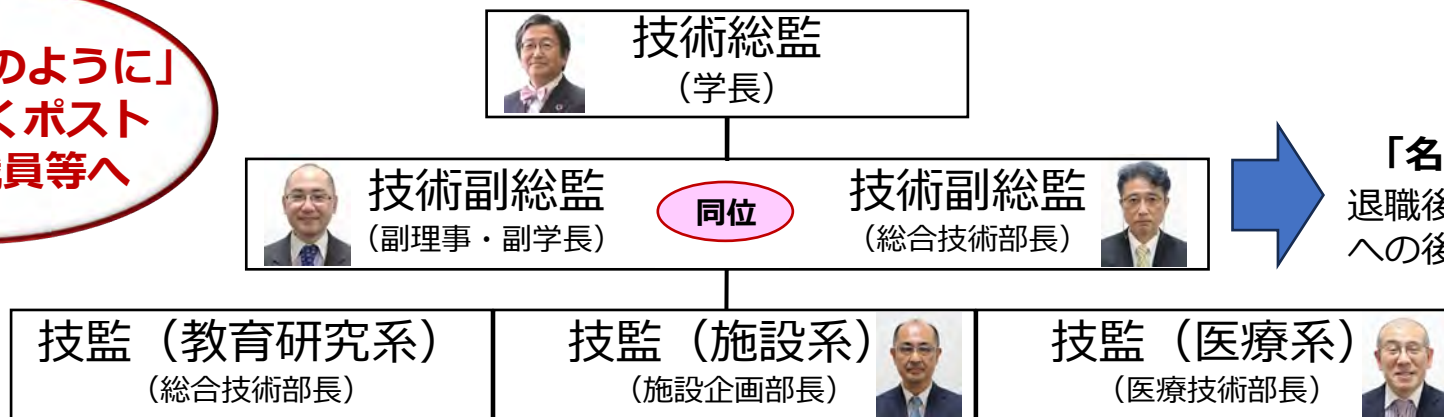
大学初
の試み

どういう点で大学「初」なのか？

- ①あらゆる系の技術職員を一元的に取りまとめた組織である点【組織力の強化】
- ②学長（技術総監）が直接マネジメントする点【トップマネジメント】
- ③高い技術監理力を持つ人材を「技監」として任命した点（大学に「技監制度」を初導入）【高位のキャリアパス制定】
- ④技術職員が副理事・副学長と同位（技術副総監）に就き、大学法人経営に積極的に関与する点【大学法人経営への参画】

など

「当たり前のように」
教員が就くポスト
を技術職員等へ



「名誉技監」称号創設
退職後のキャリアパス等
への後押し

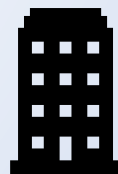
J-PEAKSを起爆剤として、

大学全体の研究力強化・組織風土改革・価値向上を目指す

強みの研究群を育成する仕組み（次なる先鋭研究群を育成）

設備と技術系人材を含む研究基盤強化

- ・ 共同利用機器を拡充・共用促進
- ・ 共創イノベーションラボ棟を建設
- ・ 他機関との連携強化（東大 クライオ電顕、理研 SPring-8）



研究マネジメント人材の強化（URA、CD、技術職員、事務職員）



これらにより**大学全体への波及効果**を狙う

「社会変革」という変化をもたらす組織として、まず自分自身（大学）の組織・制度の変革なくして、社会変革の実現も研究大学への昇華もあり得ない！

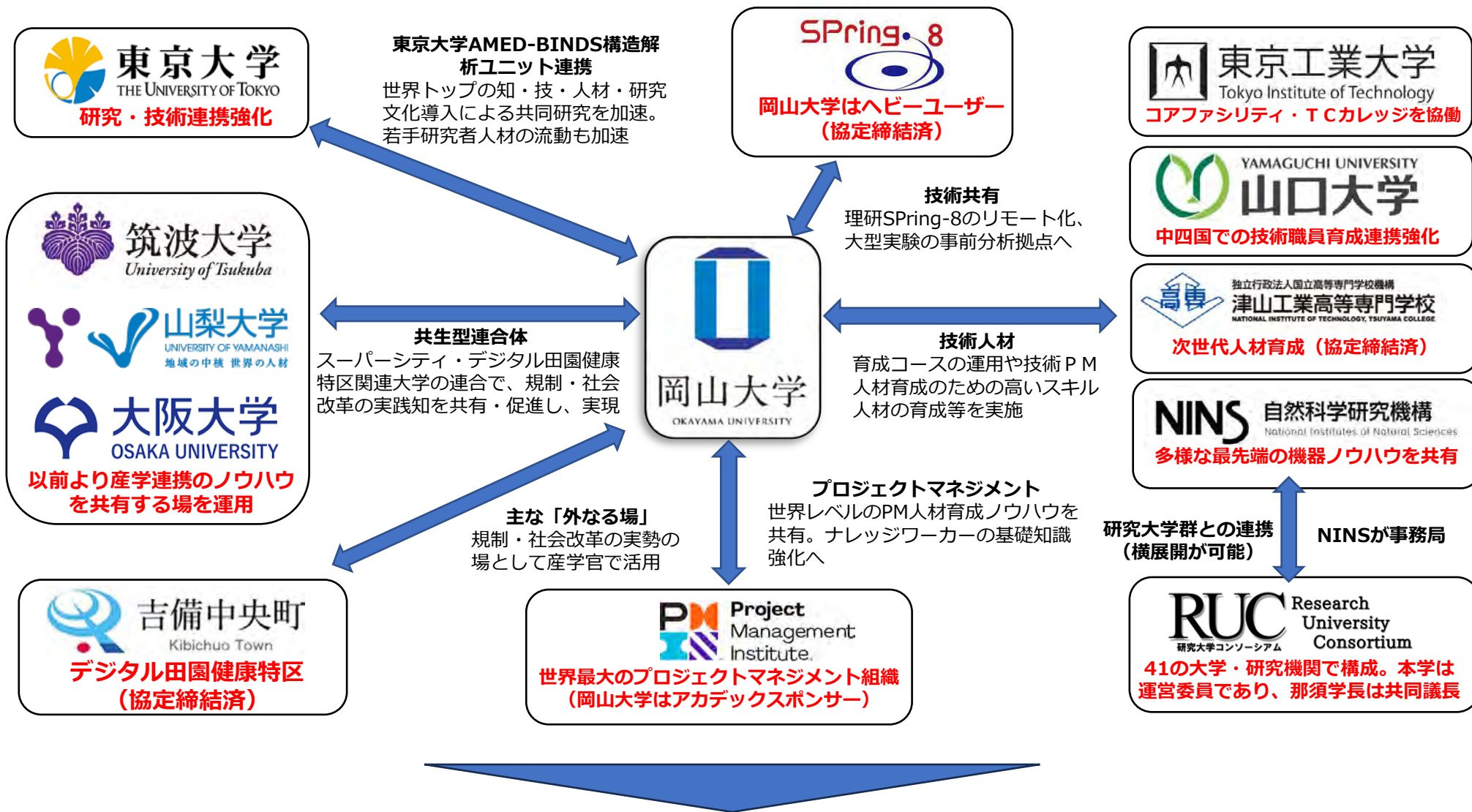
岡山大学の生き残りを懸けて

- ①我が国の知的基盤を担う研究大学は、社会に対し新たな価値を創出・実装し、社会変革を促し、日本再興のエンジンとしての機能が求められている
- ②J-PEAKSの採択は、真に大学を改革する未曾有のチャンスであり、本学は、本事業を活用し、
- ③大学全体の研究力強化・組織風土改革・価値向上を目指す
- ④研究力の卓越性の至極やイノベーション創出はもちろん、人的リソースの機能分化と全体最適により、旧態依然とした制度やしきたりを抜本的に改革、体質を改善する

これからの日本を牽引する研究大学となる

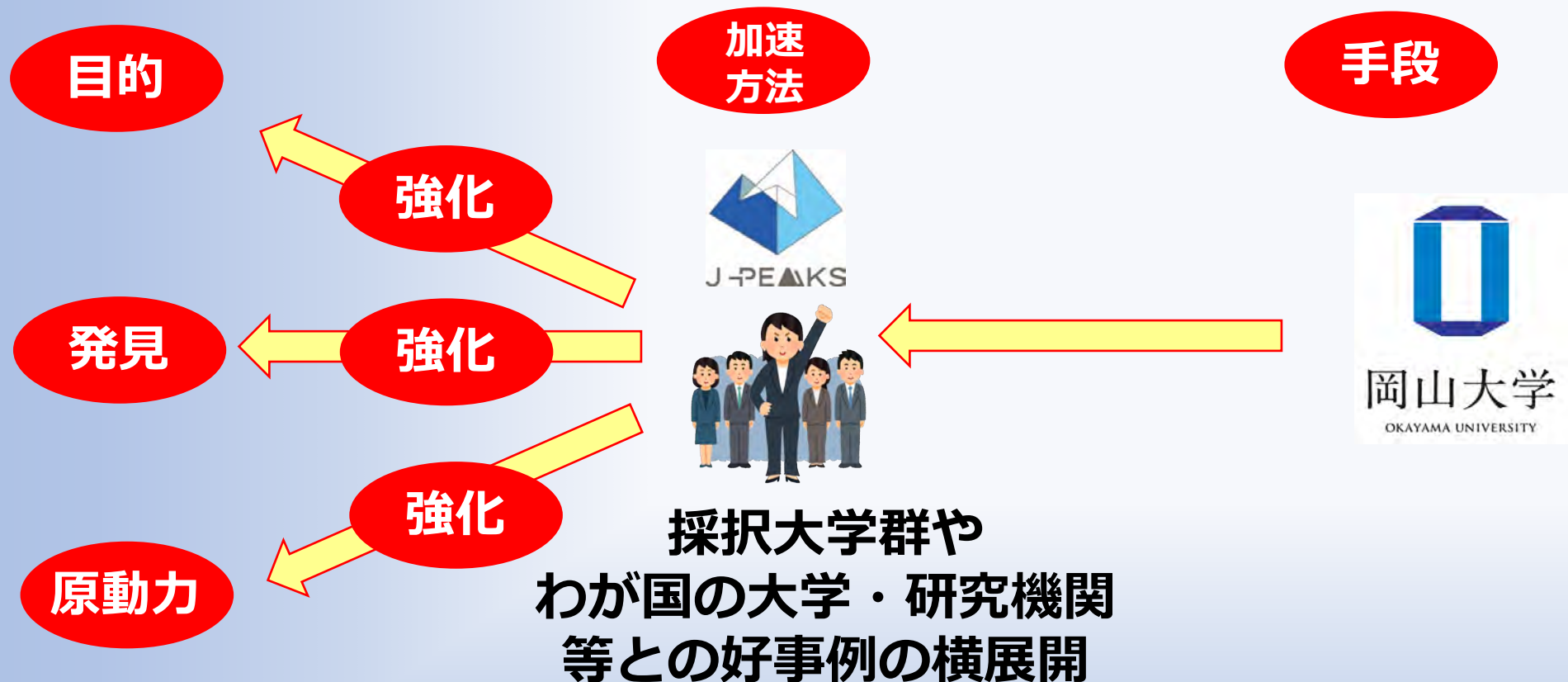
岡山大学長期ビジョン2050
「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」へ

岡山大学J-PEAKSの主な連携（俯瞰図）



日本全体の研究力強化の発展を牽引するJ-PEAKSのためには…

日本全体の研究力強化の発展を牽引するJ-PEAKS



岡山大学は、しがらみ・しきたり・岡大中心主義などを廃し、
「共にできることは共に」を基に、他大学のことを**自分事**として
汗をかきます！

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」採択大学として、新たな価値の創出と社会変革を強力に進め、我が国全体の研究力の発展を牽引します。

大学・研究機関のみならず、社会が大きく変化していくなか、大学における不易と流行を念頭にこの変革のチャンスを生かし、過去・現在・未来のステークホルダーとともに失敗を恐れず、どんどん挑戦し続ける研究大学となります。





お問い合わせ先

岡山大学J-PEAKS事業統括事務局

**（岡山大学研究・イノベーション共創管理統括部
研究協力課）**

innovation@adm.okayama-u.ac.jp